

〔第32回〕

GSRC seminar

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research Institute

運動器疾患分子病態に 関する研究

運動器疾患研究部

渡邊 研 部長

2025年1月21日(火) 15時00分～
第1研究棟2階大会議室

高齢者の日常生活動作を低下させる運動器疾患の中でも、サルコペニアおよび関節疾患は、その分子病理やマーカーが未だ確立せず、そのため効果的な薬物療法などもない。特に変形性関節症・変形性腰椎症はその潜在的な患者数が国内で数千万人という試算からも、早期診断、リスク診断、新規治療法の開発が望まれている。運動器の退行性病変への対策は介護予防を含め、NCGGとしても重要な課題である。運動器疾患研究部では、病院やメディカルゲノムセンターの協力を得て、バイオバンク試料・情報を用いたヒトでの検討から、マウス遺伝学などを用いた疾患基盤研究を行っており、今回は関節疾患の研究から新しい発症病理に関する知見としてFerroptosisの関与についてと、サルコペニアバイオマーカー探索モデルについて取り組みを紹介する。

座長：渡邊 研 部長

連絡先：GSRCセンター長室(内線5002)